つくる。つつむ。つなぐ。
東京佼成ウインドオーケストラ

David Maslanka Cycle TKWO

第176回定期演奏会

協奏二題、重なり合う輝き

マスランカ・チクルス vol.5



［指揮］
大井剛史
（常任指揮者）

PROGRAM | プログラム

クワイエット・コール（1991年委嘱作品）／真島俊夫
Quiet Call / Mashima Toshio [約13分]

第1楽章 アレグレット I. Allegretto

第2楽章 アダージョ II. Adagio

第3楽章 アレグロ III. Allegro

ティンパニ協奏曲／酒井格
Concert for Timpani and Band / Sakai Itaru [約24分]

第1楽章 アレグロ・テンペストーソ I. Allegro tempestoso

第2楽章 アダージョ II. Adagio

第3楽章 アレグロ・コン・ブリオ III. Allegro con brio

休憩 Intermission ［20分］

交響曲第8番／D.マスランカ
Symphony No.8 / David Maslanka [約42分]

第1楽章：適度に ～とても速く I. Moderate - Very fast

第2楽章：適度に II. Moderate

第3楽章：適度に ～とても速く ～適度に ～とても速く
III. Moderate - Very fast - Moderate - Very fast

注 意

- 本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- 携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- 演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。
- 演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。

PROFILE | プロフィール



東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者。
17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラプチェフスキーの各氏に指導を受ける。
2007～2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクールで第2位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。その後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。
仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000～2001)、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009～2016)、山形交響楽団指揮者(2009～2013)、同正指揮者(2013～2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014～2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。
レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽／吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。
東京藝術大学音楽学部器楽科客員教授(吹奏楽)、尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

PROFILE | プロフィール



2010年東京芸術大学を卒業。
これまでにトロンボーンを故 秋山鴻市、栗田雅勝、吉川武典の各氏に師事。
現在、東京佼成ウインドオーケストラテナートロンボーン奏者。
室内楽にも積極的に取り組んでおり、自ら作編曲を手がけ、室内楽の魅力の発信も積極的に行っている。トワイライト・トロンボーンカルテットではCDリリースやテレビ、ラジオ出演なども行っている。
桐朋学園大学音楽部門、洗足学園音楽大学、東京音楽大学各非常勤講師。



国立音楽大学卒業。首都圏のオーケストラを中心に客演するほか、ハンガリー国立フィル、スーパーワールドオーケストラ、ミハイロフスキー劇場管等の来日公演、劇団四季『リトルマーメイド』の録音、フィギュアスケート『メダリスト・オン・アイス』等に出演。
現在、東京佼成ウインドオーケストラ ティンパニ奏者。Kバレエ トウキョウの専属オーケストラであるシアター オーケストラ トウキョウ首席ティンパニ奏者。東京音楽大学吹奏楽アカデミー専攻非常勤講師。

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生（TKWO楽芸員）

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

真島 俊夫
クワイエット・コール

真島俊夫は1949年2月21日生まれ。神奈川大学を経てヤマハ・バンド・ディレクターズ・コースで兼田敏（1935-2002）らに作曲を師事した。初期はニュー・サウンズ・イン・ブラスのシリーズにおいて岩井直溥（1923-2014）のアシスタントを務めるなどして経験を積み、『波の見える風景』が公募により1985年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲となったことで広く知られるようになる。また、THE SQUARE『宝島』のアレンジが爆発的なヒットとなり、シンフォニックとポップスの両面で高く評価された。その後、優れた吹奏楽のための作編曲作品を次々と発表、2006年には『鳳凰が舞う』でクードヴァン国際吹奏楽作曲コンクールのグランプリを受賞、世界的な評価も得た。まだまだ優れた作品を発表することが期待されていたが、2016年4月21日に舌癌のため67歳でこの世を去った。TKWOとの親交も厚く長く、代表作『三つのジャポニスム』（2001）や『地球』（2011）を委嘱作品として書き下ろしているほか、団員やそのアンサンブルのための作品も数多く手がけている。

名実ともに日本の吹奏楽界を代表する真島だが、きちんとした作品リストがまとめられたことは無い。多作家でもあり、初期のものや吹奏楽以外のためのもの、ポップスやアレンジ作品となると、存在すら知られていないものもあろう。『クワイエット・コール』も、そんな幻の真島作品のひとつ。まだ不明点は残るが、曲の成立と密接な関わりのある山本訓久・萩谷克己の両氏の協力で判明したことを整理してみよう。

ユーフォニアム奏者である山本訓久が、トロンボーン奏者の和田美亀雄とのデュオ・リサイタルのために真島に新作を委嘱したところ、既にまとまった形の「トロンボーンとピアノのデュオ曲」が真島から提示された。これが誰かの依頼で書き始められていたのか、真島が自主的に作ったものかは不明。真島は当初これを単独の作品とするつもりだったらしいが、この既作品を第1楽章とし、第2・第3楽章を追加することで協奏曲とすることになった。したがって、第1楽章はトロンボーン、第2・第3楽章はユーフォニアムを想定して作曲された。こうして完成したユーフォニアムとピアノのための版は、1990年6月10日に名古屋のスタジオ・ルンデにおいて初演された。

その直後か、以前より「真島にトロンボーンと吹奏楽のための協奏曲を作ってほしい」と思っていた

当時TKWOのトロンボーン奏者であった萩谷克己がTKWO委嘱作として真島に作曲を打診する。すると真島から「このような曲がある」と提示されたのが、「ユーフォニアム独奏とブラス・アンサンブル＋打楽器」という編成の版のこの曲だった。このブラス・アンサンブル伴奏版がどのようにして生まれたのかは不明だ。ただ、JASRACのデータベースにはこの曲が「ユーフォニアムとブラス・アンサンブルの為のコンチェルト」として作曲者作品届によって提出されており、真島本人はピアノ伴奏版ではなく、このブラス・アンサンブル伴奏版を完成形と考えていた可能性は高い。

そのブラス・アンサンブル伴奏版を吹奏楽伴奏にしたのが、TKWO委嘱作（1991年1月完成）。この改作において、第2楽章が全く違うものに作り換えられ、第3楽章のコーダも独自のものとなっている。サブタイトルは「Concerto for Trombone (Euphonium) and Band」とされ、独奏はどちらでもよいとされている。このTKWO委嘱版は1991年2月10日に常陸太田パルティホールで行われた「ひたち音楽祭バンドフェスティバル」において萩谷の独奏、上垣聡の指揮で初演された。

その9年後、萩谷は真島の許可および監修を得て元々のブラス・アンサンブル伴奏版の第3楽章のコーダを吹奏楽に編曲し復活させた改訂版を作成した。この萩谷版は2000年4月7日に高萩市文化会館で行われたTKWO高萩公演（指揮：新通英洋）にて初演されたほか、萩谷によって数カ所のアマチュア・バンドとの共演でたびたび再演されてきた。萩谷の独奏はしばしば楽譜と異なるところもあったが、真島は「好きなようにしてください」と歓迎する姿勢を取っていたという。曲のスタイルとしてはジャズ的な要素も多分に含んでいるため、奏者の自主性に任せたのであろう。

なお、真島には『クワイエット・サンセット』（2001）というホルンとピアノのためのジャズ・バラード調の作品（トロンボーンのための版と管打八重奏のための版もある）が存在するが、こちらは内容的関連性は認められなかった。

曲は3つの楽章で構成されるが、いずれの楽章もダル・セーニョで戻りコーダで終わる3部形式となっている。

第1楽章　Allegretto

前述の通り、元々は独立したトロンボーンとピアノのための作品として構想されていた楽章。山本によると真島は「冒頭の何かを呼びかけるような心地よいリズムのフレーズがまず浮かんで来て、そこから書き始めた」と語っていたという。

第2楽章　Adagio

吹奏楽伴奏版となった際に新しく書き下ろされたスロー・バラード。そのためか、木管楽器にトレモロが多用されるなど、吹奏楽ならではの表現が用いられる。

第3楽章　Allegro

カノン的な要素が多く用いられるのが特徴的な快速楽章。前述のように吹奏楽伴奏版独自のコーダが作成されていたが、今回はそれを元々のブラス・アンサンブル伴奏版に戻す形で再編曲された萩谷版のコーダを使用する。

Solo Trb / Fl 1,2 / Ob / Bsn / Es-Cl / Cl 1,2,3 / Alt-Cl / Bas-Cl / Cb-Cl / Alt-Sax 1,2 / Ten-Sax / Bar-Sax / Trp 1,2,3 / Hrn 1,2,3,4 / Trb 1,2 / Bas-Trb / Euph / Tuba(div) / Cb / Timp / Perc

---

酒井 格

ティンパニ協奏曲

酒井格は1970年3月24日生まれ。幼少期よりピアノをはじめ、6歳のときには既に作曲をはじめていたという。大阪音楽大学作曲学科および同大学院で田中邦彦、千原英喜の両氏に師事した。多作家でもあり、現時点で作曲作品は200曲を超える（現代の作曲家としては珍しく作品番号も付けている）。中学生の時に吹奏楽部でフルートを担当したこともあってか、吹奏楽作品や管打楽器のための楽曲が多いが、弦楽器や管弦楽のための作編曲も手がけている。吹奏楽分野では高校三年生のときに作曲された『The Seventh Night of July（たなばた）』（1988／1991改訂）が絶大な人気を博している（その初期稿版は大井指揮のTKWOが録音した「酒井格作品集」にも収録）。そのほかにも優れた吹奏楽作品を多数発表し、日本吹奏楽指導者協会が主催する作曲賞（下谷奨励賞・JBA下谷奨励賞・JBA下谷賞）を計5回受賞、2016年度の日本管打・吹奏楽アカデミー賞（作・編曲部門）を受賞している。2024年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲として『メルヘン』を書き下ろしたのも記憶に新しい。また、春の選抜高等学校野球大会のためには第81回大会（2009年）以降の入場行進曲の編曲を担当していることでも知られていよう。

卓越した楽器法の魅力もあり、酒井へはプロの演奏家からの依頼も多く、協奏曲も少なくない。興味深いのは、そうした協奏曲となると普段の吹奏楽曲とは酒井の作風がやや異なることだ。酒井作品

の魅力はチャーミングな旋律と豊かな和声、物語的な音楽展開といった、ともすればライト・クラシック的な側面で語られやすい。その一方で協奏曲となると古典派的な堅牢な楽曲形式で主題労作が前面に押し出され、また違った魅力が発揮される。ここには標題音楽と絶対音楽の違いはあろうが、ここまで多様な引き出しを見せる作曲家も珍しい（それだけに2027年1月に予定されている大井指揮によるOsaka Shion Wind Orchestraでの『交響曲』初演は興味深い）。今回演奏される『ティンパニ協奏曲』も例外ではない。

「作品番号120」が与えられた『ティンパニ協奏曲』は、2010年に元・大阪フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者の中谷満と龍谷大学学友会学術文化局吹奏楽部の委嘱によって作られ、同年12月25日に委嘱者によって若林義人の指揮で初演された。以来、国内を代表する数々のティンパニ奏者によって再演を重ねており、2026年には弦楽オーケストラとの版も作成されている。前述のように独奏ティンパニは酒井いわく「伝統的な奏法を核に」しており、古典派以来のいわゆるクラシック音楽でのティンパニの用法が主体となっている。そこにはブラームスやホルスト、チャイコフスキーといった大作曲家たちの香りも感じられよう。特に酒井は中谷のティンパニについて「少年時代に朝比奈隆の指揮で聴いたブルックナーの交響曲第8番での力強く壮大なティンパニのイメージが印象に残っていた」とのことで、その影響は大きい。一方で、1オクターブを半音階で降りていく箇所があるなど、現代ならではのティンパニの魅力も盛り込まれているのは聴き逃せない。独奏ティンパニの台数は指定されていないが、6台で演奏されることが多いようだ。高度な音変えも要求されるがペダルの指示はされておらず奏者に委ねられており、センスと技術が求められる。曲中、3発だけ独奏ティンパニがバス・ドラムを叩くことになっているのだが、ここには明確に低いCのピッチが指定されている。様々な技術・表現力が味わえると同時に、酒井が「やっぱりティンパニはドとソで勝負！」と語る通り、管弦楽の大黒柱たるティンパニの存在感が輝く作品となっている。

第1楽章　Allegro tempestoso

ハ短調。最初から独奏ティンパニが3連符でCの音を刻み始めるのだが、最初のカデンツァが始まるまでの4分ほどをずっと刻み続けるという大胆な構成。その上で移りゆくブルックナー的な管楽器の和音が印象的な楽章。

第2楽章　Adagio

ヘ短調。独奏ティンパニによるアリアは、時に2声になるなど立体感に富む。オーボエとテューバの活躍が目立つのは、当時の龍谷大学に在籍していた名手を想定したためで、演奏者から着想を得ることの多い酒井らしい。拍子木に鈴、木鉦や竹鳴子を用いるため、どこか日本風な雰囲気も持つ楽章。

第3楽章　Allegro con brio

ハ短調。独奏ティンパニで提示された躍動感ある旋律が全体に広がってゆく変則的なロンド形式。ティンパニがバンド全員とユニゾンで演奏するような旋律であると同時に、「ドとソ」の関係を随所で示すことができるように音が選ばれている設計も見事であり、それを存分に活かしたティンパニの多岐にわたる魅力が凝縮された楽章。

Solo Timp(B-Dr) / Picc / Fl 1,2 / Ob 1,2 / Bsn / Es-Cl / Cl 1(div),2(div),3 / Alt-Cl / Bas-Cl / Cb-Cl / Alt-Sax 1,2 / Ten-Sax / Bar-Sax / Trp 1,2,3 / Hrn 1,2,3,4 / Trb 1,2 / Bas-Trb / Euph / Tuba(div) / Cb / Perc

デイヴィッド・マスランカ

交響曲第8番

マスランカが遺した吹奏楽のための交響曲の全曲演奏を5年かけて成し遂げる〈マスランカ・チクルス〉。5曲目となる今回も、これまでと重複する記述ではあるが、マスランカの紹介から始めよう。

マスランカは1943年8月30日に生まれたアメリカの作曲家。オバーリン音楽院からザルツブルグのモーツァルテウム大学への短期留学を経て、ミシガン州立大学にてオーエン・リード（1910-2014）に師事し修士号および博士号を取得した。いくつかの大学で教えていたが、1990年以降はフリーランスの作曲家として活動、2017年8月6日に結腸癌のため73歳で死去するまでに管弦楽や合唱、そして吹奏楽のためにたくさんの作品を残している。

その作風は実に個性的であり、観念的でもある。音楽は自らの無意識「真の声」より生まれ、マスランカの理論的な知識と結びつき、自然と形式的な構造にたどり着く（時にそれは伝統的な形式となる）のだという。また、マスランカの作品にはバッハの引用や、古い民謡もしばしば登場する。それらは多くの人々が何世代にもわたって歌い続けたもので、「深く正しい」感覚に根ざした、人間の経験の深みと豊かさを体現したものであるからなのだという。マスランカ自身の作品も、それらと根を同じくする延長線上にあるという考えなのだ。

マスランカ自身が完成させ番号を与えた交響曲は全部で9曲。このうち『第1番』(1971)と『第6番』(2004)が管弦楽作品で、他は全て吹奏楽のために書かれている。これらを5年かけて演奏するTKWOのチクルスではこれまでに『第2番』、『第9番』、『第5番』、『第3番』の順に取り上げており、今回の『第8番』が5曲目となる。

さて、マスランカは1995年に『ミサ』という作品を完成させている(2005年に改訂)。構想に20年以上をかけた、ソプラノ、バリトン、混声四部合唱、児童合唱に吹奏楽という編成による1時間40分の大作だ。「死と再生」を生涯の命題としたマスランカにとってこの曲は特別な意味を持ち、「1994年以前のものはミサへの前奏曲であり、それ以降のものはミサへの考察である」と断言、今回の『第8番』もその性質を帯びたものとなっている。

『交響曲第8番』は、36の団体によるコンソーシアム(共同委嘱)により作曲され、2008年3月10日に完成、11月20日にコンソーシアムの中心となっていたスティーヴン・スティール指揮のイリノイ州立大学ウインド・シンフォニーによって世界初演された。マスランカは作曲するにあたり、多くの他の作品と同様にまず瞑想しインスピレーションを得た。今作では「どこまでも広がる荒廃した世界」の情景が浮かんできたが、マスランカはその様(世界が抱える諸問題)ではなく、その深層に力強く動いている生命力、創造の脈流を題材とした。その発想は、マスランカの創作に一貫する「死と再生」というテーマから考えると、そう不自然なことではあるまい。マスランカが目指した表現は「新たな生命」、「過去から未来へのつながり」、「大いなる希望」、「揺るぎない信仰」、「喜び」、「恍惚とした光景」、そして「確固たる決意」。マスランカは最終楽章において引用している讃美歌『ものみなこぞりて』を同じく用いた『果てしなき生命の流れ(Unending Stream of Life)』という吹奏楽作品をほぼ同時期の2007年に作曲しており、そのタイトルが『交響曲第8番』の副題としてもふさわしいかもしれない、としている。この交響曲は「生命への讃歌」なのだ。

曲は3つの楽章で構成されているが、古典的な急緩急ではなく、同一の世界観による組曲のような形を採る。結果として「一つの広大なパノラマのような光景」とマスランカはしている。曲にはいくつかの引用があり、古いものは絶えず新しいものの中に存在する顕れとされている。

第1楽章　Moderate – Very fast

前述のマスランカの旧作『ミサ』に含まれる第4曲「グロリア」に基づく楽章だが、直接的な引用ではなく、やや抽象化されているように思われる。「グロリア」は神の偉大さと恵みをほめ称える「栄光の讃歌」。この交響曲が讃歌であると同時に『ミサ曲』の特に「グロリア」への補遺であることを示唆している。マスランカは歌詞の「いと高きところには神に栄光あれ」が聞く者にとってどのような意味を持つかは異なるかもしれないが、自身は「宇宙の力が私たちの前に、また私たちを通して現れ出ること」を意味しているとしている。

第2楽章　Moderate

古いルター派のコラール『イエス、わが喜び(Jesu, meine Freude)』による幻想曲。このコラールは教会音楽家ヨハン・クリューガー(1598-1662)が1653年に作成した聖歌集に収められたものだが、ヨハン・セバスチャン・バッハも愛好し、自身の『371の四声コラール集』に263番として組み込んだ。マスランカはよくこのコラール集から主題を採っている。新たな創造のために自らを捧げたイエス・キリストの生涯を「高次の創造性」の象徴として称えた楽章で、いわゆるコラール前奏曲の様式を採っている。

第3楽章　Moderate – Very fast – Moderate – Very fast

アッシジの聖フランチェスコ(1182-1226)が作った『太陽の讃歌』を基にして作られたという讃美歌75番『ものみなこぞりて』を用いた「この世に存在するすべてのものへの讃美と感謝」の楽章。この讃美歌の終結部の「ハレルヤ(神を讃えよ)」という歌詞には、順次進行で1オクターブの音階を降りていく、という音楽が付いている。マスランカはそれを素材とし、「喜びに満ちた、すべての鐘が鳴り響く」音楽とした。前述の通り、この『ものみなこぞりて』はマスランカの他の作品『果てしなき生命の流れ』の主題ともなっている。

Picc / Fl 1,2 / Ob 1,2 / Bsn 1,2 / C-Bsn / Es-Cl / Cl 1,2,3 / Bas-Cl / Cb-Cl / Sop-Sax / Alt-Sax 1,2 / Ten-Sax / Bar-Sax / Bas-Sax / Trp 1(Picc-Trp),2,3 / Hrn 1,2,3,4 / Trb 1,2 / Bas-Trb / Euph / Tuba / Cb / Timp / Perc / Pf



PROFILE | 楽団プロフィール

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。
2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する
日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。
2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。
桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、
首席客演指揮者に飯森範親を擁している。
吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し
高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。
また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

指揮 …… 大井剛史
トロンボーン …… 今村岳志
ティンパニ …… 坂本雄希
演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太
Flutes …… 前田綾子、白戸美帆
Oboes …… 宮村和宏※、桜田昌子
Bassoons …… 福井弘康、竹下未来菜
Contra Bassoon …… 大内洋介
Clarinet in E♭ …… 松生知子
Clarinets in B♭ …… 大浦綾子、林裕子※、野田祐太郎、船橋茉里、岡本昇大、亀居優斗、河合莉奈、草野裕輝、後藤榛花
Alto Clarinet …… 石田勝
Bass Clarinet …… 泊明里
ContraBass Clarinet … 原浩介
Alto Saxophones …… 林田祐和(Soprano Saxophone)※、五十嵐健太、都築惇
Tenor Saxophone …… 松井宏幸
Baritone Saxophone … 栃尾克樹
Bass Saxophone …… 田中奏一朗

Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、本間千也※、河原史弥、今村碧
Horns …… 堀風翔※、小助川大河、小山千鶴、笠原優太、佐藤文香
Tenor Trombones …… 伊藤大智、廣田純一、山下純平
Bass Trombone …… 青木千暁
Euphoniums …… 岩黒綾乃、大山智
Tubas …… 池田侑太、山岸明彦
Contrabass …… 前田芳彰※
Timpani …… 坂本雄希
Percussion …… 和田光世、菊本歩、幸多俊(Timpani)、高瀬真吾、野本洋介、三宅和奏、村居勲、村瀬芽生
Piano …… 鈴木慎崇

※演奏委員

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル
常任指揮者 …… 大井剛史
特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク
楽芸員 …… 中橋愛生
首席客演指揮者 …… 飯森範親
広報アドバイザー …… 阿南一徳

コンサートマスター
林田祐和

副コンサートマスター
宮村和宏

インスペクター
栃尾克樹
丸田悠太
今村岳志

企画委員
原浩介

役員
理事長 …… 勝川本久
常務理事 …… 八反田弘
専務理事 …… 堀風翔
監事 …… 清水宏一

事務局
事務局長 …… 勝川本久
事務局次長 …… 堀風翔
事務局長補佐 … 八反田弘

制作
篠原華
大橋証太(ステージマネージャー)
羽田紀子(ライブラリアン)

営業
森ゆかり

広報
尾平海音
荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ
荻沼美帆
尾平海音
佐原由起

総務
佐原由起
山内真由子(パーソナルマネージャー)
青塚厚美

経理
青塚厚美

Tokyo Kosei Wind Orchestra

賛助会員

会員募集中

今後も音楽文化の発展に貢献する
活動を行い豊かな社会を実現するため、
趣旨にご賛同いただける
多くの皆様からの
継続的なご支援が必要です。
賛助会員へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円／1口	10,000円／1口	100,000円／1口
法人	100,000円／1口	300,000円／1口	1,000,000円／1口

詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間
お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当　FAX：03-5341-1255　MAIL：patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。（2026年10月1日現在）

法人会員

特別会員　**（株）佼成出版社**

維持会員　**エーユーツーリスト（（株）アコード）**　**名古屋 宗次ホール**

賛助会員
株式会社アシストジャパン
遠藤製作所 遠藤悦治
管楽器専門店ダク
鈴木住地（有）
立花産業（株）
中央鉄鋼 有限会社
フォスターミュージック株式会社
株式会社プリマ楽器
柳澤管楽器株式会社
アトリエ・エム株式会社
株式会社CAFUAレコード
建友商工（株）
株式会社全音楽譜出版社
株式会社辰美製作所
株式会社中川船舶
株式会社 Fumon IT Systems
みずほ証券株式会社

個人会員

特別会員
天野 正道
野田 武彦
古沢 秀明
加賀美 猛
林 正作
ミーゴ
佐々木 潤
林 總太郎
山内 幸人
田中 淳子
久末とまこ
匿名3名

維持会員：154名　／　賛助会員：77名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員募集中

東京佼成ウインドオーケストラ（TKWO）を応援したい仲間が集まるファンクラブです。
TKWOをもっと身近で特別な存在に♪
サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう！

詳細はこちら

PR Supporters　PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。（2026年10月1日現在）

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
（株）コマキ楽器　ジャパンパーカッションセンター
ブレーン株式会社　広島本社
ブレーン株式会社　東京支社
（株）管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
（株）セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科　江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ　クラリネット　ショップ
（株）ドルチェ楽器　管楽器アヴェニュー東京
（株）永江楽器水戸
野中貿易（株）
ヤマハミュージック 横浜みなとみらい
株式会社　池袋音楽学院
株式会社CAFUAレコード
大江戸シンフォニックウィンドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店　テオバルト
アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器　横浜店
フォルテ・オクターヴ ハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整　浅香工房
葡萄房　by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大枡
おぐセンター
ワイン酒場トンマーゾ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社
方南町　共立薬局
御菓子司　大和や

▼個人のお客様

渡邉 直子
樫野 哲也

**東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。**

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか？
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。（個人も含む）ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra

2026-27 Season Concert Schedule

定期演奏会
スケジュール

第173回 定期演奏会

2026年 4月29日[水・祝]
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール
終了


©K.Fujimoto

指揮 ユベール・スダーン



- 歌劇「サムソンとデリラ」より「バッカナール」／C.サン=サーンス／大橋晃一 編
- サクソフォン四重奏と吹奏楽のためのコンチェルト・グロッソ[1992年委嘱作品]／J.アンドリーセン
- バレエ音楽《ダフニスとクロエ》(全曲版)／M.ラヴェル／大橋晃一 編

第174回 定期演奏会

2026年 7月5日[日]
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール
終了


©Ayane Shindo

指揮 大井剛史（常任指揮者）



マスランカ・チクルス Vol.4

- 交響曲第3番／D.マスランカ
- 吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」／高 昌帥

第175回 定期演奏会

2026年 9月21日[月・祝]
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール
終了



指揮 下野竜也



- 呪文と踊り／J.B.チャンス
- 交響曲第2番／J.B.チャンス
- 巫女の舞／保科洋　ユーフォニアム独奏 岩黒綾乃
- 交響曲第2番／保科洋

第176回 定期演奏会

2026年 11月8日[日]
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール
終了


©Ayane Shindo

指揮 大井剛史（常任指揮者）





マスランカ・チクルス Vol.5

- クワイエット・コール[1991年委嘱作品]／真島俊夫　トロンボーン独奏 今村岳志
- ティンパニ協奏曲／酒井格
  ティンパニ独奏 坂本雄希
- 交響曲第8番／D.マスランカ

第177回 定期演奏会

2027年 1月24日[日]
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©山岸伸

指揮 飯森範親（首席客演指揮者）

- 波の見える風景(改訂新版)／真島俊夫
- 脆性ノスタルジア 吹奏楽のための／冷水乃栄流
- 秘儀VI〈ヘキサグラム〉全曲(吹奏楽版世界初演)／西村朗／中橋愛生 編
- パリのアメリカ人／G.ガーシュウィン／保科洋 編
- 交響曲第2番(日本初演)／K.デイ

第178回 定期演奏会

2027年 2月28日[日]
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Ayane Shindo

指揮 大井剛史（常任指揮者）

- 行進曲「希望に燃えて」／水島数雄　●日本民謡組曲「わらべ唄」／兼田敏
- 冬山に逝ける若者への祈り／岩河三郎
- TKWO委嘱作品[世界初演]／波立裕矢　●サンシャイン序曲／E.E.バーグレイ
- サンタフェ・サガ／M.グールド　●ディシジュアス／V.クオン
- 委嘱作品[世界初演]／D.ビーデンベンダー*

*2025年度バーロウ賞受賞者による新作。委嘱コンソーシアムに参加する各団体が、それぞれ世界初演を行います。

Season Concert Schedule

コンサートスケジュール

第179回 定期演奏会

2027年 4月29日〈木・祝〉
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Peter Adamik

指揮 ダグラス・ボストック

- シェイクスピア・ピクチャーズ／N.ヘス
- 祝典のための音楽／G.ジェイコブ
- 天空の祈り〜とうとき命に〜／松下功
- 吹奏楽のための交響詩「ぐるりよざ」／伊藤康英

第180回 定期演奏会

2027年 6月27日〈日〉
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Ayane Shindo

指揮 大井剛史（常任指揮者）


©Kenichiro Sato
トランペット：河原史弥*

- ファンタジア／V.ネリベル　●交響的断章／V.ネリベル
- プレリュードとフーガ／V.ネリベル
- ウェストポイント・コンチェルト／V.ネリベル
- ゴールデン・コンチェルト*／V.ネリベル
- 世の終わりへの行進／V.ネリベル　●レリジオーソ／V.ネリベル
- フェスティーヴォ／V.ネリベル　●2つの交響的断章／V.ネリベル

第181回 定期演奏会

2027年 9月26日〈日〉
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Ayane Shindo

指揮 松井慶太

- フローレンティナー・マーチ／J.フチーク
- モラヴィアン・ラプソディ／E.ザーメチュニーク
- スメタナ・ファンファーレ／K.フサ
- シンフォニア・ブレヴィス／Z.ルカーシュ
- コルシカ島の祈り／V.ネリベル　●この地球を神と崇める／K.フサ

第182回 定期演奏会

2027年 11月28日〈日〉
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Ayane Shindo

指揮 大井剛史（常任指揮者）



マスランカ・チクルス Vol.6

- 聖歌変奏曲／A.リード
- 我が牧人は愛の王／A.リード　●ギリギア(追憶の歌)／A.リード
- エルサレム讃歌／A.リード　●交響曲第7番／D.マスランカ

第183回 定期演奏会

2028年 1月23日〈日〉
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Shon Curtis

指揮 原田慶太楼


©青柳 聡
ピアノ：横山幸雄*

- エンブレムズ／A.コープランド
- ラプソディ・イン・ブルー(オリジナル・ジャズ・バンド版)*／G.ガーシュウィン／F.グローフェ
- ウエスト・サイド物語より「シンフォニック・ダンス」／L.バーンスタイン／P.ラヴェンダー
- アナヒタ／R.エテザディ　●スピリチュアル・シンフォニー／B.ホーン

第184回 定期演奏会

2028年 2月27日〈日〉
開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール


©Ayane Shindo

指揮 大井剛史（常任指揮者）


©平舘 平
尺八：藤原道山*

- 音楽的思考「求心」(1972年委嘱作品)／陶野重雄
- アナパシス／中橋愛生
- 尺八協奏曲(仮題)*(委嘱新作・世界初演)／我妻英
- セレモニーズ(1979年委嘱作品)／R.ジェイガー
- 交響曲第2番「この島はざわめきに満ちて」／J.マッキー

東京佼成ウインドオーケストラ 自主演奏会スケジュール

北関東『吹奏楽のまち・小山』共創プロジェクト

ウインド・クリスマス ～小さな吹奏楽が奏でる冬の名曲～

2026年 12月19日［土］ 開演14:00（開場13:15）　小山市立文化センター大ホール

演奏　東京佼成ウインドオーケストラ15名による管打楽器アンサンブル

曲目
- カンタベリー・コラール／J.ヴァンデルロースト
- くるみ割り人形メドレー／P.I.チャイコフスキー／高橋宏樹 編
- 星に願いを／L.ハーライン／石川亮太 編
- スケーターズ・ワルツ／E.ワルトトイフェル／石川亮太 編
- ウォルタイム・トラベル／高橋宏樹 編
- ジョイフル・クリスマス／三浦秀秋 編

ほか

ファンタスティック☆クリスマス2026 ～吹奏楽で聴く人類の宝「第九」～

2026年 12月22日［火］ 開演19:00（開場18:00）　東京芸術劇場 コンサートホール

指揮　大井剛史（常任指揮者）

ソプラノ　宮地江奈　メゾソプラノ　谷口睦美　テノール　山本耕平　バリトン　大西宇宙　合唱　東京混声合唱団

曲目
- クリスマス序曲／N.ヘス／P.リトルモア 編
- 交響曲第9番ニ短調作品125「合唱つき」／L.v.ベートーヴェン／保科洋 編

課題曲コンサート2027

2027年 3月27日［土］ 開演14:00（開場13:00）　東京芸術劇場 コンサートホール

指揮　大井剛史（常任指揮者）

曲目
- ジュピラーテ／R.ジェイガー（1978年度）
- カント／W.F.マクベス（1978年度）
- ウインド・バンド・ネオン／姫野七弦（2027年度 - 第36回朝日作曲賞）
- 行進曲「パルナッソス」／後藤元信（2027年度）
- アルメリア／長生淳（2027年度 - 委嘱作品）
- Ascending the Snowcapped Peaks／ロバート・シェルドン（2027年度 - 委嘱作品）
- スケルツァンド／江原大介（2017年度）
- パルセイション／木下牧子（2006年度）
- 五月の風／真島俊夫（1997年度）
- コンサートマーチ'87／飯沼信義（1987年度）
- ディスコ・キッド／東海林修（1977年度）

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史（常任指揮者）＆中橋愛生（楽芸員）が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とは一味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。今回は、2027年1月24日開催の第177回定期演奏会についてご紹介いたします。

第14回

2026年 12月7日［月］ 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

料金　2,500円（税込）

■ 共　催：管楽器専門店ダク

詳細はこちら▼

Original goods

TKWO オリジナルグッズ

東京佼成ウインドオーケストラでは、
オリジナルグッズを販売しています。
自主演奏会の会場やTKWOオンラインショップにて
ご購入いただけます。

New



ハンドタオル



楽器クロス



クリアファイル



リングノート

ほかにも多くの商品を
ご用意しております。

ご購入・詳細はこちら

新入団員紹介



フルート
白戸 美帆
Shirato Miho
Flute

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。10月に入団したフルート奏者の白戸美帆です。
私は宮城県石巻市の出身で、高校生の時に初めて東京佼成ウインドオーケストラの生演奏を聴きました。その時にソロを吹かれていた前田綾子さんの美しい音色と佼成ウインドの迫力のあるサウンドに心がときめいたことを今でも覚えています。プロの演奏に感動し、「私もいつか、あのような演奏ができるようになりたい」という気持ちを胸に練習を重ねて今があります。
これからは、佼成ウインドの一員として吹奏楽を愛する方々の希望となれるよう、また、全国各地で佼成ウインドのコンサートをお届けできるよう努力していきたいと思います。
これからも温かい応援をよろしくお願いいたします。



バスクラリネット
泊 明里
Tomari Akari
Bass Clarinet

本日はご来場くださり誠にありがとうございます。10月に入団いたしました、泊明里と申します。
バスクラリネットには中学2年生で出会い、それ以来、吹奏楽ならではのバスクラリネットの奥深さを追求してまいりました。
TKWOは学生時代から、吹奏楽曲を演奏する際には必ず音源を探して参考にしていた、私にとって原点ともいえる楽団です。この度その一員となることができ、大変うれしく思うと同時に身の引き締まる思いです。
バスクラリネットは少し影が薄いかもしれませんが、ぜひ耳を傾けて、バスクラリネットの音にも注目してお聴きいただけますと幸いです。それでは今後とも応援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。





LITTIN

Premium Handmade Quality

Made in Germany

無限の可能性

LITTIN TROMBONE

リッティン・トロンボーン

自身トロンボーン奏者でもあるサンジン・リーが、ドイツの金管メーカー フィンケで修業後、マイスター資格を取得。
それまで温めていたアイデアを形にして理想のトロンボーンを作るべく、2014年にフランクフルトにて LITTIN MUSIK 社を創業しました。
ゆるやかにX字を描くF管の美しい曲線、ベルを精悍に引き締めるスクリューベルのベルリング・・・・・
「柔」と「剛」が無理なく一体化したようなその姿は、今まで体験したことのない新しいサウンドへの期待を抱かせます。
ボディ・ベル・スライドの素材や厚み、仕上げ、ウェイトなど多数の組み合わせよりあなただけのパートナーが必ず見つかります。

LITTIN. S217 Bb/F Tenor Trombone





東京佼成ウインドオーケストラ
テナートロンボーン奏者
今村岳志

リッティンが追及したのは、圧倒的に濃厚で豊かな音色の響き。
息を入れた瞬間、奏者の意志にどこまでも素直に応え、
あたたかく深みのある音色が広がります。
「こう表現したい」と願う演奏のすべてを現実に変える、
唯一無二のパートナーです。







株式会社ドルチェ楽器

大 阪 店　〒530-0017 大阪市北区角田町2-7　TEL.06-6377-1117　FAX.06-6377-1233　E-mail:infod@dolce.co.jp
東 京 店　〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-13-12西新宿昭和ビル8F　TEL.03-5909-1771　FAX.03-3345-1388　E-mail:tokyo-brass@dolce.co.jp
名古屋店　〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-35　TEL.050-5807-3564　FAX.052-218-7828　E-mail:nagoya@dolce.co.jp

リッティン・トロンボーン 日本総代理店　11:00am～7:00pm　木曜定休(木曜日が祝・祭日の場合、営業)

www.dolce.co.jp

YAMAHA
Make Waves

Xeno

TENOR BASS TROMBONES



YSL-882II SERIES

YSL-882II　YSL-882GII　YSL-882OII
YSL-882GOII　YSL-882ORII　YSL-882GORII

お問い合わせ

お客様コミュニケーションセンター　管弦打楽器 ご相談窓口
携帯電話、IP電話からは 050-3852-4087へおかけください。
受付時間：月曜日～金曜日　10:00～17:00(祝日、センター指定休日を除く)

製品情報はこちら▶

株式会社ヤマハミュージックジャパン

2026年11月8日（日）開演：14:00（開場：13:00）

東京芸術劇場コンサートホール

主催： 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

助成： 文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））

独立行政法人日本芸術文化振興会

https://www.tkwo.jp/